



「確かさ」で選ぶ…
バイエルの農薬

新しいヒエ剤登場

® ヒノクロア粒剤

<NTN 801> メフェナセット4.0%

特長

- ①ヒエに安定した高い効果。
- ②処理適期幅が広く使い易い。
- ③土壌吸着力に優れ、移植水稻に安全性が高い。
- ④残効性に優れる。
- ⑤毒性が低く人畜、魚介類に安全性が高い。

®は登録商標

日本特殊農薬製造株式会社

東京都中央区日本橋本町2-7-1 ☎ 103

■ヒノクロアの混合粒剤で適剤適所■

●初・中期一発処理除草剤

特農 **シンサン** 粒剤

<NTN 831> メフェナセット3.5% ナプロアエリド7.0% プロモブチド4.0%

●初・中期一発処理除草剤

特農 **リードゾン** 粒剤

<FSS 115> メフェナセット3.5% ピラゾレート4.0% プロモブチド4.0%

●初・中期一発処理除草剤

特農 **クリアランド** 粒剤

<FSB> メフェナセット3.5% ピラゾレート4.0% ベンタゾン5.5%

●新型除草剤

特農 **クロアベスト** 粒剤

<NTN 804> メフェナセット5.0% ナプロアエリド7.0%

植調協会だより

◎ 人事異動

昭和62年3月1日付け

命 研究所勤務 主査研究員 権田重雄

命 事務局勤務 技術部調査課 山崎和己

残留分析係長

昭和62年2月14日付け

退職 事務局 技師 長山 優

去る2月27日、植調会館にて、本誌の62年度編集会議が開催された。宮原、太田、市橋、小淵、杉山編集委員と協会の吉沢専務、吉田常務、小沢の出席で、62年4月号より63年3月号(21巻1号~12号)のテーマ・執筆予定者について、夫々提案、検討、審議され「編集計画」が策定

された。巻頭言、除草剤、生育調節剤の水稻他各種作物に対する試験成績の概要は従来通りとし、民間研究所、新しい農薬の紹介はさらに充実して、新たに人事往來の欄を設けることにした。関係各位の一層の御批判と御支援を渴望する次第である。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03)832-4188(代)

昭和62年3月発行

植調第20巻第12号

定価400円(送料170円)

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢 長人
発行人 植調編集印刷事務所 広田 伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行所 植調編集印刷事務所
電話 東京(03)833-1821番(代)